

劇場の近代化

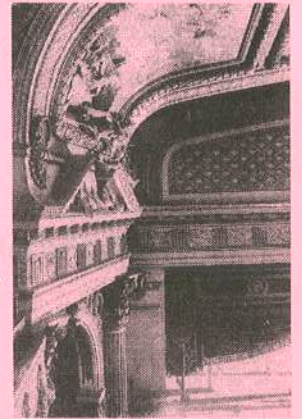
帝国劇場・築地小劇場・東京宝塚劇場

永井 聡子 著

2014年3月刊行予定

▶ A5判・220頁／定価：本体3,500円（税別） ISBN978-4-7842-1737-3

明治・大正・昭和初期における劇場の近代化に大きな影響を与えた3つの劇場、帝国劇場（明治44年開場）・築地小劇場（大正13年開場）・東京宝塚劇場（昭和9年開場）を取り上げ、当時のさまざまな言説、図版、写真、インタビューなどの資料を読み解き、西洋の劇場近代化過程とも比較しながら日本の劇場の近代化の特色を描きだす



◎予定内容目次◎

序章

研究の背景・目的／官の劇場への姿勢／近代化のターニングポイントとなった劇場／「演出」の分野が芽生えた近代／用語の定義／研究方法／既往の研究

第1章 帝国劇場以前の歌舞伎劇場に見られる近代化

- 第1節 本章の目的
- 第2節 明治期における新しい劇場建設の背景
劇場建設地の変化／演劇改良会を発端とする新しい劇場建設への提言
- 第3節 運営システム
- 第4節 劇場空間
舞台空間／客席空間／楽屋空間／ホワイエ
- 第5節 演劇システム
- 第6節 まとめ

第2章 帝国劇場に見られる近代化

- 第1節 本章の目的
- 第2節 帝国劇場建設の背景
- 第3節 運営システム
- 第4節 劇場空間
客席空間／舞台空間と舞台技術／楽屋空間／ホワイエ
- 第5節 演劇システム
新しいジャンル・国産オペラの挫折／舞台照明における職能の発生／帝国劇場に向けられた評価
- 第6節 まとめ

第3章 築地小劇場に見られる近代化

- 第1節 本章の目的
- 第2節 築地小劇場建設の背景
演劇人主導の劇場／設計者確定について
- 第3節 運営システム
- 第4節 劇場空間
舞台空間と舞台技術／客席空間／楽屋空間／ホワイエ

- 第5節 演劇システム
劇団築地小劇場／演出家と舞台監督／舞台美術家
- 第6節 まとめ

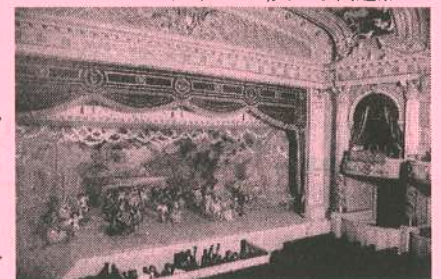
第4章 東京宝塚劇場に見られる近代化

- 第1節 本章の目的
- 第2節 東京宝塚劇場建設の背景
- 第3節 運営システム
東京における新しい興行会社の誕生／創造組織・宝塚音楽歌劇学校の創立
- 第4節 劇場空間
舞台空間と舞台技術／客席空間／楽屋空間／ホワイエ
- 第5節 演劇システム
- 第6節 まとめ

第5章 帝国劇場・築地小劇場・東京宝塚劇場に見られる「劇場」の近代化

- 第1節 西洋における劇場の近代化と
アドルフ・アッピアの改革
西洋の近代劇場における空間・運営・上演ジャンルの関係性／西洋における演劇改革と劇場空間の協力関係
- 第2節 明治・大正・昭和初期における劇場建築の変化
舞台空間と客席空間との関係性／劇場における諸室の変化
- 第3節 プロセニウムアーチに見る西洋近代劇場の導入
舞台間口と上演ジャンルとの関係性／ホリゾントと照明設備
- 第4節 西洋の近代劇場における運営システムの
日本への移入と問題点
- 第5節 まとめ

終章




ながい・さとこ…2001年、名古屋大学大学院工学研究科建築学専攻博士後期課程修了（工学博士）。現在、静岡文化芸術大学文化政策学部准教授。

【研究分野】劇場史、演劇・ミュージカル・ダンスの舞台プロデュース

【著書】『焼け跡のカーテンコール』（共著、世界劇場会議、2007年）

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	劇場の近代化		本体3,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1737-3
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）				
			本書HPのQRコード	書店番線印	

春秋 京大和翠紅館 平安から平成まで 京の雅

木村幸比古・中根史郎・中村昌生著
梅原猛序文

京都の老舗料亭京大和は、江戸時代には西本願寺の別業であり、翠紅館と称され、幕末には尊皇の志士が結集した「翠紅館会議」で知られる。その歴史・庭・建物を、カラー口絵と解説で紹介。特に、江戸時代の翠紅館の姿そのままに大正時代に建てられた建物や敷内流の茶室について、和建築の第一人者である中村昌生氏が、多数の図面とともに詳述する。



▶B5判・80頁／本体2,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1417-4

京舞井上流の誕生

岡田万里子著

京都の花街祇園に伝承され、特色的な型や伝承作品が話題にされる京舞井上流。本書は、近世から近代にいたる流派の歴史を検証し、伝承作品群の成立背景を考証する。堂上・花街文化、そして、能、人形浄瑠璃、歌舞伎といった他の芸能の影響を確認しつつ、その豊饒な母胎—近世後期京都における芸能的世界の解明に挑む。

第35回サントリー学芸賞(芸術・文学部門)受賞



▶A5判・552頁／本体9,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1672-7

※万国博覧会の研究

吉田光邦編

19世紀、体制を整備しつつあった国家・近代的な企業・国民という意識に支えられた大衆社会を基盤にスタートした新しい情報メディアの場、博覧会の諸相を明かす学際的研究。【内容】博覧会時代の背景／万国博覧会と日本の「美術工芸」／クリストファー・ドレッサーと日本／菊と万国博／パリ博覧会日本館・1937／博覧会と特許 他

▶A5判・374頁／本体6,500円(税別)

ISBN4-7842-0414-8

京・近江・丹後大工の仕事 近世から近代へ

建部恭宣著

江戸時代から明治・大正にかけての京・近江・丹後における大工の活動状況を明かした労作。寺院造営における大工の仕事、就労状況、町大工の構成と作事棟梁制度の変遷、幕末の藩士住居の図面と用材など、史料の精査に基づいて大工活動の実態と近代化への歩みを考察する。

▶A5判・270頁／本体5,500円(税別)

ISBN4-7842-1282-5

※建築史論聚

中村昌生先生喜寿記念刊行会編

日本建築の歴史的伝統を深く把握してこそ、新しい時代の建築を創造できるとした建築史学の泰斗・中村昌生氏(京都工芸繊維大学名誉教授)の喜寿を記念し、薫陶を受け研鑽を重ねてきた研究者たちがオリジナル論文を持ち寄る。寺社建築／茶室／建築生産史・都市史／近代建築についての15篇。

▶A5判・590頁／本体9,000円(税別)

ISBN4-7842-1202-7

阪神・淡路大震災と歴史的建造物

加藤邦男編

阪神淡路の内陸部を襲った直下型大地震が招いた建築物被害のうち歴史的建築物の被害状況を把握し、被災地区における復興、復元、修理補強の方策を探るのみならず、文化財建造物の将来にわたる保全、利活用における技術方策と環境の歴史的文化的価値の問題を再検討してさまざまな提言を示す。

▶B5判・280頁／本体7,800円(税別)

ISBN4-7842-0964-6

都道府県庁舎 その建築史的考察

石田潤一郎著

明治維新以降、今日まで100件をこえる都道府県庁舎が建設されてきた。本書では、一次史料をもとに同庁舎の歴史的展開を個別にあとづけ、地方行政制度史・地域史の中で位置づけるとともに、図版史料によってその平面計画及び立面意匠の具体的な把握も試みた。収録図版200余点。

▶A5判・448頁／本体8,600円(税別)

ISBN4-7842-0775-9

日本産業技術史事典

日本産業技術史学会編

「日本の近代」の理解において不可欠でありながら、従来必ずしも系統的・組織的に実施されてこなかった日本の産業技術史研究を23の大項目に分け、関連項目を344の小項目としてとりあげた。日本産業技術の流れを把握することができる「読む事典」。

▶B5判・550頁／本体12,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1345-0

※ドイツにおける〈日本=像〉

ユージェントシュティールからバウハウスまで
クラウディア・デランク著

ドイツの美術・デザイン・建築と日本美術との関係、ひいては横断的な日本=像の変遷を提示する。裾野の広い日本=像の提示を可能にした彩色写真や、ヨハネス・イッテンにおける「山水画」「南画」の影響に関する考察などは特筆に値する。

▶A5判・312頁／本体3,800円(税別)

ISBN4-7842-1194-2

※アーツ・アンド・クラフツと日本

デザイン史フォーラム編／藤田治彦責任編集

「生活」のための工芸運動であり、また社会改革をめざすデザイン運動でもあったアーツ・アンド・クラフツ運動と日本との関わりを、さまざまな視点から論じ、デザイン・工芸・美術・社会・産業・環境・生活などの立体的な関係を考察する一助とする。

▶A5判・304頁／本体2,900円(税別)

ISBN4-7842-1207-8

応用美術思想導入の歴史

天貝義教著 ウィーン博参同より意匠条例制定まで

「美術を工業に利用すること、即ち実用と佳美を兼ねしむるに在り」と表現された応用美術。ウィーン万国博覧会への日本初参加から二度の内国勲業博覧会を経て、「デザインの法」である意匠条例が制定されるまで、応用美術思想がいかに学習され、明治期の美術・工芸界において指導的役割を果たしていったかを明らかにする。

▶A5判・410頁／本体7,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1505-8

近代数寄者のネットワーク

齋藤康彦著

茶の湯を愛した実業家たち
高橋義雄、根津嘉一郎、小林一三…。彼ら近代実業家は明治から昭和初期にかけて互いに激しく争い、経済の発展に貢献した。本書は、近代実業家と茶の湯に関わる単なるエピソードの紹介ではなく、従来顧みられなかった茶会記録である『茶会記』のデータ分析を通して政界・官界・実業界を横断するネットワークを描出するものである。

▶A5判・308頁／本体4,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1603-1

文人世界の光芒と古都奈良

大和の生き字引・水木要太郎

久留島浩・高木博志・高橋一樹編
近代奈良において個人により形成された水木コレクションを主な分析の素材とし、日本史学・考古学・建築史学・国文学・美術史学・地理学・社会言語学等にわたる学際的な一書。

▶A5判・508頁／本体7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1481-5

幸田露伴の世界

井波律子・井上章一編

幸田露伴は、明治、大正、昭和を通じ、小説家・劇作家・随筆家等々として多彩な才能を発揮し、すぐれた作品を発表し続けた。さまざまな分野の研究者により、露伴の小説や評論など文学面はもちろんのこと、都市・遊技・旅行・自然観察・人生論等々の著作を通じて多様な角度からアプローチする。

▶A5判・318頁／本体5,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1444-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。